

高原操 たかはら ますみ 新聞記者。明治八年十一月福岡縣生れ（一八七五—）。

明治二十四年東京帝國大學文科大學哲學科卒、二十九年京都帝大法科大學政治學科卒。大阪朝日新聞社入社、編輯局總務を經て取締役兼主筆となる。號蟹堂。

著書『朝日講演集』（高原蟹堂名、合著、明治四十四年十一月十日大

阪・朝日新聞合資會社）、『朝日講演集・第六輯―善盛頓會議の際』

（合著、大正十年十一月十日大阪・朝日新聞社）、『時局問題批

判』（合著、大正十二年二月二十五日大阪・株式會社朝日新聞社）、

『その日は來た―善盛演說集』（合著、昭和二年二月五日朝日新聞

社）、『新聞記者打倒の詭計』（高原蟹堂名、合著・大阪朝日新聞社整

理部編、昭和二年四月十七日世界社）等。